

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
1	平成30年8月6日	岩倉市は暮らしやすいのか	その他	要	岩倉市の人口は20年間通して49,000人に満たない。岩倉市は名古屋駅から名鉄犬山線で近いところに位置するから、魅力を高めれば50,000人の人口が望める。夢を創らなければ人口は増えないと思います。	議会運営委員会
2	平成30年8月27日	市議会の議事録（ご参考まで）	その他	要	日本経済新聞8月15日夕刊の記事より。かつては自治体職員による速記がおもな方法だったが、近年は速記会社に外部委託されている。また、音声認識技術を導入する動きも広がっている。「アドバンス・メディア」のディープラーニング[深層学習]技術の登場で文字起こしの精度が飛躍的に向上したと同社は説明している。	議会運営委員会
3	平成30年8月30日	資料に関して	議会運営について	要	資料の量が多く無駄なスペースが多い。市幹部側は、要点整理をした上で概要説明をした方が時間が効率的に使い、不明点等の質問もし易くなる。傍聴側は聴く立場なのに市側のあいさつに拍手は必要ないと思う。	議会運営委員会
4	平成30年8月30日	一般質問の傍聴	その他	不要	一般質問を傍聴して感じたこと。前日に説明を受けた議案のどの部分に関連するのかわかりにくい。通告要旨は事務局が作成したものだと思うが、質問事項に提案項番を付けるとよくわかると思う。	—
5	平成30年9月10日	一般質問の動画を見て	代表・一般質問について	要	一般室を動画で拝聴した。回答は事務方で事前に用意された原稿を読み上げているだけの儀式のように見受けられる。質問内容も事前に議員から市側に提出されているはずですから、ネット上に原稿をアップすれば質問や回答の内容が短時間でよくわかり、市民も一般質問に関心が高まるのではないかと。	議会運営委員会
6	平成30年9月12日	請願・陳情の扱いについて	その他	不要	いずれの請願・陳情についても提出者の思いは理解できるが、現実問題として物理的・経済的視野で考えれば無理であることが明白であるにもかかわらず、実績作りのような意味合いで議員が名を連ねることが市民のためになっていると認識することに疑問がある。	—
7	平成30年9月18日	議論が少ない	その他	不要	財務常任委員会による議案審議を聞いて感じたことは、淡白な議論になっている。もっと活発な意見の応戦になると思った。	—
8	平成30年9月20日	30年9月定例会一般質問傍聴所感	代表・一般質問について	不要	8月30日～9月3日の一般質問と答弁を傍聴した。総括的には各議員の課題意識と勉強ぶりが実感でき、行政側も積極的に対応して実りある議論が展開されたと感じている。各議員の発言内容を自分なりに重要度を評価した。表あり。その他の意見①一部の議員において、執行機関に対して高圧的な発言が感じられた。議員と行政スタッフは対等であることを認識し、相互の立場を尊重してほしい。②発言においては相手が理解しやすいよう短時間かつ要領よく行うことに留意していただきたい。③各議員は一般質問だけでも自分の家族に傍聴してもらうよう努めるべきである。家族は最も身近な市民であり、情報源・コメント聴取などで役立つはず。	—
9	平成30年9月20日	常任委員会全般	傍聴について	不要	①成果報告書記述について、P（計画）D（実施）C（自己評価・検証）に基づく記述を要請する。また長文は避け、可能な限りデータ表記とする。②質疑の際の委員側・執行側の姿勢統一を望む。双方着席のままがよいと考える。	—
10	平成30年9月27日	お願い			審議等に必要な資料について、終了後持ち帰れる資料と持ち帰れない資料があるが、個人情報があれば黒塗り、公開できない資料も黒塗りにして貸し出しをしてほしい。	議会運営委員会
11	平成30年9月27日	9月議会を傍聴して	その他	不要	①議員は真摯に議案に向き合っていたが、発言にムラがある。議員個々に発言の多い少ないが明らか。②結論があいまいな部分もあった。③議員側からの一般質問は同じような質問もあるが、事務局サイドでの調整は行われないのか。④請願の内容の中には実施が難しいと思うものも却下できない状況は、いたずらに請願を増やすことにならないか。	—
12	平成30年10月1日	議会ホームページの動画の機能改善について	議会ホームページについて	要	早送り機能及び中断機能の改善を要望する	議会広報委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
13	平成30年10月1日	一般質問における質問時間の短縮と効率化について	代表・一般質問について	要	①議員が質問の内容に入るまでにその経緯を説明していたが、不要ではないか。②質問中に資料をスライドで説明していたが、パワーポイントの利用を考えたかどうか。③市側の答弁を求めたときに、担当部長に答弁させ、その直後に上司の答弁も求めていたが、時間のロスではないか。	議会運営委員会
14	平成30年10月1日	議会ホームページの掲載の迅速化について	議会ホームページについて	要	議会ホームページの掲載について次の事項の改善を提言する。①議会のスケジュール表に委員会や協議会の開催日時が掲載されていないため、傍聴できない場合がある。②「議会改革の取り組み」の過去の活動状況を検索したところ平成29年度までは掲載されていたが、平成30年度実施の活動が掲載されていない。活動結果を逐一掲載すべきである。	議会広報委員会
15	平成30年10月1日	財務常任委員会の議長出席と発言について	議会運営について	要	先般開催された財務常任委員会において、議長が委員席に座らず傍聴席にいた。地方自治法第105条より、議長は委員会に出席し発言しなければならないと理解すべきものとする。議会において再検討するよう提言する。	議会運営委員会
16	平成30年10月1日	本会議での質問議員を指名する際の席番呼称について	議会運営について	要	本会議において、議員が質問する場合、議長と議員がそれぞれ席番を呼称しているが、発言ごとに席番を呼称する必要があるのか。呼称を廃止すれば、議会運営の効率化・迅速化を図ることができると考えるが、どうか。	議会運営委員会
17	平成30年10月1日	【市民の声】についての情報の一元化について	議会運営について	要	【市民の声】は、市側からや議会側から収集できるものがあり、内容がダブついで業務の非効率化となっている。次のことを提言する。①情報一元化プロジェクト（仮称）を設置する②このプロジェクトには市側及び議会側のメンバーが参加する。③収集したすべての【市民の声】を管理する。④【市民の声】をプロジェクト内で議論し結論を出し、提案者に回答するとともにホームページに掲載する。⑤【市民の声】は聴きっぱなしにせず、必ず提案者にフィードバックする。	議会運営委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
18	平成30年10月1日	議員のレベルアップについて	その他	要	委員会や協議会を傍聴したが、発言者が偏っていた。発言者は複数期の議員が多く、1期生の発言は少なかった。主に1期生を対象として第三者立場に立った指導者の研修を行うことを提言する。	議会運営委員会
19	平成30年10月1日	議事日程の設定方法について	議会運営について	要	一般質問は、本会議での付託を受けた各種委員会での議論及び討論の結果を踏まえてするものであるため、各種委員会開催後に開催するのが妥当である。	議会運営委員会
20	平成30年10月1日	議会サポーター制度の効率化運営について	その他	要	議会サポーターを委嘱する際には、議会運営に関わる基礎知識【議会運営の流れ】を議会サポーターにしっかりレクチャアすることを提言する。	議会基本条例推進協議会
21	平成30年10月5日	全員協議会の市側の出席メンバーについて	議会運営について	要	平成30年5月9日の全員協議会の会議録を検索したところ、議題が議長及び副議長の選挙のための所信表明のみであった。にもかかわらず、市長・副市長・教育長が参加していた。議題が議会にのみ関するものなのに、なぜ市側のトップが出席する必要があるのか。	議会運営委員会
22	平成30年10月10日	議員任期4選以上自粛及び70歳定年制の設定について	その他	要	議員たるもの己の崇高な志を持ってその実現のために立候補すべきで、その達成には3期12年もあれば充分であろう。もしそれ以上議員を続けたいと思うのは、己の能力不足か権力欲ほかならない。人間の寿命が延びたとは言え70歳を超えると肉体的にハードな議員活動は厳しくなる。議員の4選以上自粛と70歳定年お設定を提言する。この提言を法的規制することはできないが、老害の撤廃、若年層の政治への参加を促すには必要ではないだろうか。	議会運営委員会
23	平成30年10月10日	議会におけるペーパーレス化の迅速化について	議会運営について	要	議会基本条例推進協議会において、ペーパーレスのためのタブレット端末の導入についての協議があったが、議論が遅々としてすすんでいるようには見受けられなかった。事務の簡素化のためにも早急にペーパーレス化の議論を何回も開催し結論を出していただきたい。	議会基本条例推進協議会
24	平成30年10月10日	文書質問権の有効利用について	議会運営について	要	定例会の一般質問において、市側に単に現状がどうなっているか認識するためのみの質問もあった。提案型の質問をしたらどうかと考える。現状認識だけの質問ならば文書質問権を利用すれば事足りると思う。議員各位の再考を促したい。	議会運営委員会
25	平成30年10月10日	ふれあいトーク及び議会報告会のテーマについて	その他	要	市民の身近に感じるテーマが少ないため参加人数が減少しているとのこと。次の視点でテーマを決定したらよいのではないかと提案する。①議会サポーターに興味のありそうなテーマにする。②予算及び決算関連の説明では、市民生活に深く関係する事項を絞って掘り下げて説明する。(年金生活者へ影響のある制度改正等)③その時々にあった事柄(台風の災害防止等に関する事項)を議題とする。④市側が喫緊の課題とする事項を議題とする。⑤市民からの意見を保留事項を含めて整理し議題とする。(市民の議会への言いつばなしへの不満が解消される)⑥過去の議会改革への取り組み状況を議題とする。	議会基本条例推進協議会
26	平成30年10月12日	一宮～春日井線陸橋付近の街路灯の点灯時刻について	その他	要	一宮～春日井線の鈴井から馬出に至る陸橋の高架道路の両サイドには約38基の街路灯が設置されている。鈴井側の6基と馬出側の6基は定時になると点灯し、中央の26基は暗くなると点灯する。暗くなったら自動的に点灯するよう改善したら良いと思うがいかがでしょうか。本件については、以前市政モニターをしていた時に要望したが、県の管轄であるという理由で放置されているものです。	議会運営委員会
27	平成30年10月12日	中野町地内等への案内向け同報無線の改善について	その他	要	台風21号の接近に伴い、中野町地内等の案内向け同報無線が放送されていたが、大雨で聞き取れなかったため市役所危機管理課に電話したところ全然通じなかったため行政課に確認したところ、さくらの家に避難所を開設したとの内容であった。後日、危機管理課に確認したところ、同報無線施設は五条川が溢れて浸水に遭う市民向けのもので、中野町地内向けではないとの説明があった。また、中野町地内にも聞こえるようにするためには設備を改良しなければならず予算がないとの説明もあった。安全安心の街づくりの観点から同報無線設備の充実が必要ではないだろうか。	議会運営委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
28	平成30年10月15日	他の自治体からの視察受入れ方法の見直しについて	議会運営について	要	他県の視察受入れ日の状況を調べてみると、特定の日に統一し、議員及び議会事務局職員の業務の効率化を図っている。岩倉市議会もこのような方法を見倣ってはいかがか。	議会基本条例推進協議会
29	平成30年10月15日	他自治体への議員の行政視察の効率化について	議会運営について	要	行政視察の時には岩倉市の喫緊の課題を抽出しプライオリティを付け上位の課題から順次解決すべくコストパフォーマンスを十分考慮してほしい。そして、行政視察で得た結果が市政に議員提案施策案件としてどのように反映されたかをその経緯とともに定例会又は各委員会等で説明してほしい。また、一か所の自治体に大勢視察に行く必要があるだろうか。議員各位の再考を切にお願いしたい。	議会運営委員会
30	平成30年10月15日	H29年度決算審査意見書の表示内容等について	その他	要	①H28年度の決算審査意見書で指摘された注意事項についての措置状況の記述がH29年度決算審査意見書にないのは何故か。②H29年度決算審査意見書には対前年度決算との比較・増減分析等の記述がほとんどで、対当年度予算との比較・増減分析等の記述がないのは何故か。③決算審査意見書と定期監査報告書の名称の違いであるが、なぜ決算意見書で決算監査報告書ではないのか。	議会運営委員会

番号	受付けた日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
31	平成30年10月19日	議選監査委員の廃止について	その他	要	H29の地方自治法の改正により条例で議員の中から監査委員を選任しないことができるとされた。この理由としては、議員以外の監査委員は識見を有するものと規定されていることから1年交代等の議選監査委員では監査の実効性が担保し得ないからだと推察される。よって当市においても、議選監査委員は廃止すべく条例を改正することを提言する	議会運営委員会
32	平成30年11月1日	議会運営に関する要望	議会運営について	要	1 請願における数値データなどの裏付けを求めること。請願の説得性を担保するためには、岩倉市の実態に関する具体的な数値データを駆使することが重要であるので、請願者にそれを支持または要請することが望ましい。2 タブレット導入の件：第三者意見を聴くべし。長期ビジョンで市との共用を図る。タブレット導入は案件の効率的審査上望ましいと思うが、議員相互の十分な議論がされているとは考えられない。その理由は次の通り。(1) 推進側議員から全議員の賛同を得ているとの報告があるが、未だに導入反対または消極的な意見が一部にある。(2) すでに独自の方式で対応などを始めている執行機関に対し、将来構想を含めて論議を尽くす努力がなされていない。(3) タブレット導入にかかる費用負担を、私的利用を容認することとして議員に義務付けようとしている。公私混同利用とした導入はセキュリティ確保などの理由により避けるべき。3 委員会で積極的な発言を望む。委員会において積極的な質問・発言などが一部の議員でしか行われていない。質問しない理由が、案件の内容をよく理解している、内容について精通していない、関心がないのいずれかであろう。内容を確実に精査してさらに付加価値を高めるような発言を望みたい。4 委員会にプロジェクター設置すべき。委員会における議会側と執行機関の議論を効率的に行うために、現在検討されているタブレットに先立ってプロジェクターの活用が望まれる。安価であるうえペーパーレス効果も期待できる。	議会運営委員会
33	平成30年11月1日	議会報告とふれあいトークの在り方	議会広報について	要	議会報告会とふれあいトークの運用の在り方。発言主体を考えると、議会報告会は議会側にあるのに対し、ふれあいトークは市民側にある。議会報告においては、一部の議員の主観によらず議会が統一した事実を示すことが必要。ふれあいトークでは市民の行政に対する多様な意見要望が混在し、議会側は行政への取次などにとどまって必ずしも市民の意向に沿わないケースがみられるなど、まとまりのない形で終わることが多い。これを改善するためにテーマをある程度絞って市民・議会双方が実効的かつ納得できる結果に導くことが望ましいと考える。	議会基本条例推進協議会
34	平成30年11月1日	桜並木保存等の安定的資金確保について	その他	要	桜並木保存、山車維持管理に対する資金確保を市に要求しても困難。市民・企業その他による基金設立を考えるべき。桜並木保存及び山車の維持管理については、その費用を行政に依存することには限界があり、十分な対応が困難となる。費用の不足分確保については長期対策を含め、確固たる企画が不可欠である。特に当市のシンボルである桜並木保存については、樹木の寿命が限界に近づいており早急に抜本的対策を要するが、行政依存から脱して市民・当市に立地する企業等に協力を求めて団体(財団法人など)を設立し、永続的かつ安定した管理体制を確立することが不可欠と考える。このことは全員協議会などで議会側から提案して、議会と行政が一体になった議論を展開し、さらに桜並木保存会を加えた管理体制及び方法を確立すべきと考える。	議会運営委員会
35	平成30年11月1日	議員の心構え・姿勢等	その他	要	1 市主催の講演会(行政関連)に議員も積極的参加を。市当局や各種団体が主催する講演会への議員の出席者はあまり多くない。各議員は当市が遭遇するであろう諸般の情勢・執行機関の予算立案の背景などを、客観的視点で考えるために多くの情報を取得する努力を望む。特に市民からの請願の審議に際しては、専門家の発言も参考にして対処することが必要と考える。2 議会開催中における地震等緊急時の議会の体制確立について。緊急時には、執行機関が緊急対策本部を設置するなど体制が確立されるが、議員側は相応の体制は確立されない。議会も緊急時の体制と各議員の役割を決めておくべきと考える。	議会運営委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
36	平成30年11月16日	事業仕分委員会【仮称】の設置について	議会運営について	要	H31年度の執行機関から提出される予算について、その施策内容等の無駄等を検証するいわゆる議員と外部有識者による事業仕分委員会【仮称】の設置を提言する。現在の予算にかかわる議会の審議時間は、膨大な予算の規模に対して余りにも少なく、予算に対する議会のチェック機能が十分であるとは言い難いため。	議会運営委員会
37	平成30年11月16日	中野会館の再配置計画実施までの維持費の措置について	その他	要	先般第17回公共施設再配置検討協議会において配布された岩倉市公共施設再配置計画によると、集会施設である中野会館は第3期つまり最大で平成58年度に譲渡することとなっている。しかし、昭和60年度に建設された中野会館はすでに屋根等の維持に百万円以上の費用がかかっており、今後約30年間の間にもかなりの維持費が必要となってくる。中野町の区民は200戸程度と非常に少なく、巨額の維持費負担は困難と考えられる。よって、譲渡されるまでの間の維持費を市側で負担できるように配慮願いたい。	公共施設再配置検討協議会
38	平成30年11月16日	中野町地内設置の掲示板の改修について【要望】	その他	要	現在、中野町地内には3つの掲示板が設置されている。そのうちの2つは掲示物を掲示する際、板製のボードにピンで留めているが、ボードが固くなかなかピンが深く刺さらなかったり、長年の風雨等に晒されて老朽化しピンが効かない場合が生じている。これらの掲示板は、当初設置した場合は、市側が費用負担していたと承知しているので、ボードの取り換えは市側で費用負担して実施してもらえよう強く要望する。	議会運営委員会
39	平成30年11月16日	掲示板に掲示するポスター等のサイズの統一について【要望】	その他	要	現在、設置されている掲示板のサイズはどこの町内でも統一されており、A四判で換算すると、掲示スペースは概ね8枚くらいとなる。しかしながら、市側から区長等に掲示依頼されるポスター等はサイズが統一されていないため、中にはB二判のものもありこれらを掲示すると他の掲示物は掲示できない事態が生じている。【特に、掲示時期がかさなっている場合は困る。】よって、掲示板に掲示依頼する場合には、ポスター等のサイズを是非統一していただくよう市側に働きかけていただきたい。	議会運営委員会
40	平成30年12月5日	岩倉市 観光案内について	その他	要	ホームページ・SNS等での広報は勿論大事ですが、役所1階にてパンフレット「い〜わ岩倉めぐり」岩倉まち歩きマップガイド 岩倉宝箱「岩倉ガイド」「岩倉五条川」等パンフレットは貰えますが市役所までいかないと貰えないとすると、観光客にとっては不便だと思います、そこで提案ですが、添付した画像のように、い〜わ岩倉めぐり 岩倉まち歩きマップ パンフそのままでも使えそうですがこれを看板にして岩倉駅西口岩倉病院の看板のように（今は使用されていますが）いい場所をさがし案内看板を掲示されてはいかがでしょうか？ポスタージャックもいいですが、例えば添付した看板はベシックですが、長時間PRができ より効果的かと思います 同時に現場の迎える準備 体制も必要になるかと思いますが有効かと思いますが又レンタル自転車等の案内も必要となってきます さらに岩倉グルメ店等ものせて宣伝費等を確保するとか 先日の命名権の話ではないですが、美観をそこなわないレベルで 市でできる範囲で（最初は）考えてみてはいかがでしょうか？市活性化の為には当然投資も必要になります、じゃんじゃん稼いで積極的に投資出来るようにしないと 縮小均衡にならざるをえない状況になると思います 市の宣伝は市内の入り口などに効果的な看板表示をしてみてもいかがでしょうか？命名権は最初の段階では さくらの家 くすのきの家 みどりの家 中央グランド 等で検討されてみてはいかがでしょうか？	—

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
41	平成30年12月18日	議長 委員長等の一人の政治家としての発言時間の確保について	議会運営について	要	本会議 委員会等の議長 委員長をされる方の議員個人の政治家としての意見はどこに反映されるでしょうか？多分それぞれの長として意見集約 調整をされる立場にあり又慣習として本人も納得済みで その職をまっとうされているとは思いますが、市民レベルから言えば その時間も確保して 発言されてはいかがでしょうか？市民の立場から言えば この案件に対し当事者がどんな意見を持たれているかがわからないではないでしょうか？多分会派の方 副の方が事前に聞かれて代わりに質問意見等を言われているのかもしれませんが、又条例 法規等で定められているのかもしれませんが、改革の余地はあると思います。以上検討して頂ければ幸いです。	議会運営委員会
42	平成30年12月18日	高額の予算を要求する場合の心がけ	代表・一般質問について	要	少子高齢化に伴う人口減少傾向のなか 医療 年金 介護 社会保障費がさらに増大すると予想されるなか、高額の予算を伴う政策 提言など難しさはあるもの おおよその予算金額が必要になるのか？又実現にはどれくらいの準備 期間が必要なのか その金額をどこから捻出するのか？その支出にたいしてどうして収入を確保するのか、いずれにしても縮小均衡ばかりでは夢もないし必要な事もできないので 先行投資も必要になってくると思います いろいろな方法で収入を増やす事をもっともっと考えるべきだと思います。以上この議論が深まることを期待します。	—
43	平成30年12月20日	市議について思うこと（一般質問・請願に関する事）	その他	不要	◎市議の主な仕事は市政に対するご意見番という見方が一般的で市内の課題や市民の意見を議会に反映させることに力を注ぐことに専念するには若干違和感がある。請願を受け入れることはルール違反ではないが、市政に対し、やみくもに求めていくというのは少し違うのではないかと思います。議員さんには市民の目と市政側の目も持って対処すること望みたい。◎市民の意見には公平公正な判断のもとにどのように取り扱うかを検討した上で、議会に反映すると良い。◎一般質問に関し各議員はどのくらい活動をしているのか分かりませんが、得意、不得意の分野があることは理解しますが毎回同じような内容の質問になっているような部分もあるような気がします。思い違いでしょうか？<雑感>私は労務管理の仕事に長く携わってきましたが、労組との物とり交渉ではなく、議会での議員さんと市側は出された質疑に対し、どのようにしたらその問題が解決できるのかを共に考える場であってほしい。考え過ぎでしょうか？◎9月12月各期に提示された議案に対する双方のやりとりは特に違和感もなく、議員さん側の対応も真摯に行われていたと思います。◎各委員会での議員側の発言がやや偏りがみられたように感じました。もう少し活発な意見交換があるのではないかと期待していました。◎出席回数は少なかったのでは見ていたわけではありませんので誤って理解している部分も多いかもしれませんが、2期の議会を通じ大変勉強になりました。◎議会に提出される議案がどの程度の範囲なのかわからないので知りたいと思います。	議会運営委員会
44	平成30年12月27日	本議会場内設置テレビの設置方法の変更について	傍聴について	要	現在、12月定例会から本会議場内に約500万円かけて設置されているテレビは何の目的で設置されているのか理解できない。仮に傍聴者向けであるならば、議長の後ろ側のテレビは遠すぎて見にくく、議場横のテレビは真横を向いているため傍聴者からは見づらい。少しテレビに傾斜をつけて傍聴者から見やすくなるよう工夫をしたらどうか。もし、議員のために設置されたならば経費の無駄使いではないだろうか。	議会運営委員会
45	平成30年12月27日	本議会における委員会代表質問の改善について	代表・一般質問について	要	12月定例会から本会議において委員会代表質問が実施されることとなったが、実際に2人の委員会代表質問を聞いてみて、従来の一般質問とどう違うのか理解に苦しむ。委員会代表質問の制度を作るのはよいが、その役割をもっと明確にして一般質問との相違を傍聴者にも分かり易くすべきではないだろうか。	議会運営委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
46	平成30年12月27日	スプレー缶の穴あけ処理方法の変更について	その他	要	先般、北海道でスプレー缶の穴あけ処理の不手際により爆発火災が発生した。無論、不動産業の社員の処理には問題であるが、新聞報道によると、環境省ではスプレー缶をゴミとして廃棄する場合には、穴あけ処理せず、そのまま廃棄するよう指導しているとしており、名古屋市も穴あけ禁止としている。しかし、岩倉市ではスプレー缶を廃棄する場合には、穴あけ処理を広報等で周知している。この件で岩倉市環境保全課に穴あけ処理方法を変更するつもりはないかと確認したところ市民部長まで確認し、いまのところ従来のおり変更するつもりはないとの回答であった。穴あけ禁止している名古屋市等の方法を調査して、どちらの方法が良いのか安全と費用対効果とを比較検討して決定すべきものとするが執行機関の回答を求めている。	—
47	平成30年12月27日	各町内とのふれあいトークに対する議会の対応について	その他	要	先般の議会基本条例協議会で配布された3町内のふれあいトークの報告書を読んだが、報告書で町内の参加者の意見や質問に対する議会の回答をみると、議員の感想にとどまっているものもある。これらのものについては、引き続き調査、検討しながら、町内の方々に途中経緯も踏まえて随時フィードバックすべきものとする。ふれあいトークで出てきた意見質問には最後までフォローしていく姿勢が大切とする。つまり、PDCAをしっかりと廻していく必要があるのではないかと。	議会基本条例推進協議会
48	平成30年12月27日	平成29年度決算の健全化判断比率の比較方法について	その他	要	広報12月号に平成29年度決算における健全化判断基準として全国平均より数値が低いから市の財政は健全に運営されている、と結論づけているが、県内平均と比較とすると高くなっており、健全に運営されているとは言い難いのではないかと。参考までに、市の規模が同じような、いわゆる類似自治体と比較した場合はどうだろうか。民間企業では、一般に比較検討する場合には、対象すべきは経済的、政治的等に似た類似企業を対象として選定しており、経済的、政治的に全く異なる企業と比較しても意味はないからである。【0+100の平均は50であるが、49+51の平均も同じ50である。しかし、どちらに意味があるか明白であろう。】	—
49	平成31年1月4日	請願書及び陳情書の受付基準の見直しについて	その他	要	先般開催された12月定例会に請願書及び陳情書が提出されたが、一部の請願書及び陳情書を読むと、請願者及び陳情者の上部機関又は上部団体が取り纏めた資料をそのまま丸写しで提出しており、岩倉市ではどうなんだといういわゆる岩倉市目線での焼き直し内容になっておらず、理解し難いものが見受けられた。無論、現在では、請願者及び陳情者から提出された請願書及び陳情書の内容については、議会事務局としては、そのまま認め、受け付けざるを得ないことは承知しているが、前述した如き場合には、請願者及び陳情者に再提出するようアドバイスするか、受付基準を見直し、理解しやすい請願書及び陳情書にしていく努力をすべきではないだろうか。	議会運営委員会
50	平成31年1月4日	一般質問時に利用する引用文の説明時間の短縮について	代表・一般質問について	要	先般開催された12月定例会の本会議において、議員が一般質問する際、本題に入る前に引用文を長々と説明する場面が見受けられ、質問時間の多くをそのために費やし、限られた質問時間を有効に使いなかつたケースがあった。引用文を利用するのはよいが、原文のまま読み上げるのではなく、要旨のみを簡潔に説明することにより、質問時間の節約及び質問内容の充実につながり、その結果、より多くの質問が可能になることの方が大切だと思うが如何でしょうか。	議会運営委員会
51	平成31年1月4日	議会サポーター傍聴者への説明資料配布の充実について	傍聴について	要	先般開催された12月定例会の本会議等に執行機関から提案された予算等の議案について、執行機関が長々と説明がなされたが、議員には配布されていた説明資料が傍聴者には配布されていなかったため、内容が理解しにくいケースがあった。傍聴者全員に配布することは議会事務局としても多忙だと思われるので、せめて議会サポーターだけでも説明資料を配布して頂きたいと考えるが、如何でしょうか。	議会運営委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
52	平成31年1月4日	委員会代表質問について	代表・一般質問について	要	1 委員会代表質問が委員会の総意を示すことが、一般質問より重要性を示す点であり評価できる。 2 内容及び質問の仕方が一般質問との相違が感じられなかった。3 という局側の答弁にも、一般質問への答弁と大差が感じられなかった。以上の状況から、委員会代表質問を効果的かつ深刻性をもって行うことが望ましい。すなわち 1 質問内容に具体性を持たせ、当局から実施の可能性及び実施期限を明確にした答弁を引き出すこと。2 代表質問時間が短いので、委員会・全員協議会でさらに議論を深めることが必要。	議会運営委員会
53	平成31年1月4日	関戸議員の不祥事に関する議会の対応について	議会運営について	要	関戸議員の不祥事は、一義的にご本人自身の全面的責任に基づくことは明白であるが、議会としての対応には下記の通り異議がある。1 ご本人の行為が公職選挙法等に抵触することを会派内・全員協議会などで常に確認し防止できることが必要。もし行われているならば今回の行為は言語道断。2 このような不祥事をマスコミや市民に積極的に周知すべきではない。私は中日新聞の読者であるが、他自治体では同様の記事がほとんど見られず、岩倉市だけが不祥事が多いと読者に受け取られているとすれば市民としても恥ずかしい。3 個人の不祥事に関して、今回のように全員協議会傍聴者が多いのも理解できない。サポーターの私自身も、当日の全員協議会などの議題を事前に知るために議会事務局に確認しているのに、比較的数多くの市民が全員協議会に傍聴に来ているのは、議員の一部が作爲的に情報を流しているためと感じている。4 今回の件について11月21日・27日・12月18日の3回も議論しているが、内容には堂々巡りの展開が感じられた。議会改革を標榜し市民本位の議会活動を展開しているとは考え難い。	議会運営委員会
54	平成31年1月4日	議会運営委員会への批判の存在理由は何か	議会運営について	要	須藤議員が「議会運営委員会は横暴」だと重ねて発言している反面、堀委員長はそれを否定している。これは須藤議員個人の認識とも感じられるが、このような状態が継続することは望ましくない。傍聴者の前でこのようなやり取りは非常に恥ずべき事。議会運営委員会メンバーは各会派代表者で構成されているから、各委員は主要議題などを会派に持ち帰って確実に議論すべきである。その結果が当該委員会で採択されるならば「横暴」との批判は当たらないはず。今後このような発言が出ないための努力を望む。	議会運営委員会
55	平成31年1月4日	岩倉市商工会陳情の対応	その他	要	岩倉市商工会の陳情が12月定例会で3度目とのことに驚いた。内容的には過去の2回に近いとのこと。私の疑問は 1 毎回の対応（行政を含めた）が確実であったかどうか。2 議会・商工会間の意思疎通を十分行っているか。などであるが、福祉や市民生活などの陳情・請願に比べて消極的に感じられる。重要なことは議会が真剣に対応することが必要。	議会運営委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要否	本文	担当委員会
56	平成31年1月15日	一般質問の録画で声が聞き取りにくい件 農地転用の件	代表・一般質問について	要	<p>こんにちは。YouTubeで見させてもらっていますが、時々下を向いて話していて何を言っているかわからない時があります。読むにしても紙を持って前を向いて話してもらえたらもう少し聞き取りやすいのかなぁと思います。</p> <p>農地の話をしている、広げたり貸し借りと言っていました。岩倉は電車で歩いているとアパートや新築の家が次から次へと建っているように思います。岩倉は電車はなんでも停まるし、名古屋まで一本でいけるので本当に便利な所なんだと住んでから気づきました。そういうのもあるからか大野さんが建築が好調ということも言っていました。そういう所は農地にはむかないのでしょうか？住んで人を増やすのも大切ですが農家の方々の生活も大切なのでそのバランスはどおなのでしょう？あと、綺麗な野菜だけでなく、規格外のものも買い取って売ってもらえるような交渉は農家さんが自分でやるのでしょうか？そう言うのを引き受けたら少し何かしらそのお店に得点みたいなのをするとかでも受け入れていけるようにすれば廃棄もなくなって安定しないのでしょうか？見た目は良くなっても同じところでできた野菜なので味は同じでしょうし。</p>	議会運営委員会
57	平成31年1月18日	他の自治体からの視察受入方法の効率化について	議会運営について	要	<p>平成30年度の議会スケジュール表によると他の自治体からの視察受入れ回数が30超計画されており、議員活動多忙の一因となっている。そこで、NO17（NO28）で提言した以外に次のことを検討してみたいかがでしょうか。①視察自治体から事前に聞きたいことを文書にて受領し、文書にて回答することで済むならば受け入れを断る。②視察自治体との面談が必要な場合には、本市議会のメンバーを3等分して1自治体当り、5人で対応する。③視察自治体と面談する場合。チャンスと捉え、本市としても当面する課題について逆に質問をし解決に努める。</p>	議会基本条例推進協議会
58	平成31年1月21日	本会議の傍聴に関して	傍聴について	要	<p>議案等の資料についてですが、多岐に渡り、詳細も含めて、量が多くわかりにくい。しかし、各議員の市政発展への意気込みは十分に感じられた。ただ、傍聴側としては、議案等の議決結果が一般市民にも理解出来る様に内容報告と解説を市議会のホームページにアップする事が可能であれば、市民に、より開かれた市議会になるのではと思う。</p>	議会運営委員会
59	平成31年1月28日	議会サポーターについて	議会運営について	不要	<p>議会運営についてのサポートは、議会に精通していないと難しい。今回役割を①～⑥に分類されて良かったと思います。議会運営については、議会運営委員会で行う方が良いと思います。</p>	—
60	平成31年1月28日	市民農園の空区画対策について	代表・一般質問について	要	<p>平成30年12月委員会代表質問において、桜井議員から市民農園の空区画対策として、神奈川県伊勢原市の市民農園事業の視察結果を踏まえ、区画の面積を狭くすることを執行機関に質問したが、現在石仏市民農園の監事をしている立場からすると、現在使用している9区画の人がもう1区画を借りたいとの要望が強く、1区画の面積を狭くすることではなく、むしろ2区画目が利用できるように制度化することが必要であると考え。本件については、農政商工課農政グループには再三提案しているが石仏農園のみに認めると他の農園に波及するので制度化はできない、とのことであった。もし、空区画が増えると雑草が繁茂し、他の利用者から苦情が監事に寄せられ、そのまま放置すると、最終的には農政グループが対応することとなり、業務に負荷がかかることとなる。是非、再度、次回の定例会に執行機関の考えを質問して頂きたい。(注) 石仏市民農園の空区画数は、平成31年3月31日現在、全55区画のうち23区画となる予定である。</p>	総務・産業建設 常任委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
61	平成31年1月28日	生産緑地の2022年問題対策について	代表・一般質問について	要	平成3年に改正された生産緑地法によると、生産緑地指定された平成3年から30年経過した西暦2022年から、土地の所有者は、その土地の所在する市町村に、時価での買取を申し出ることができ、その場合当該市町村は自ら買い取るか、購入を希望する農業従事者への斡旋に努めることになるが、申請から3カ月を経過しても生産緑地として買い受けるものがなければ、生産緑地指定が解除され、農地以外の用途での利用や売買が可能となってくる。これがいわゆる2022問題である。そこで、次回の定例会等で、岩倉市において、生産緑地がどのくらいあるのか、もし、多くの生産緑地があるのであれば、2022問題対策をどのように考えているのか、また、農業振興地域整備計画との関連はどうなるのか、を執行機関に質問して頂きたい。	総務・産業建設 常任委員会
62	平成31年1月28日	「議選監査委員の廃止」への回答に対する再質問について	議会運営について	要	平成31年1月26日に開催された市議会サポーターとの意見交換会において、標記の事案を提案したところ、須藤議員から「議選監査委員は、公正かつ中立の立場にたって監査を実施していくことができるので、議選監査委員は必要と考え、現状のとおり継続する。」との回答があったが、事案の提案内容で指摘したとおり、大阪府では条例で全部で5人の監査委員の中、議選監査委員は0人としている。何故、大阪府ではそのように条例で規定したのかその理由を聞き取り調査し、その調査結果を踏まえた回答を再度して頂きたい。	議会運営委員会
63	平成31年1月28日	「財務常任委員会の議長出席と発言」への回答に対する再質問について	議会運営について	要	平成31年1月26日に開催された市議会サポーターとの意見交換会において、標記の事案を提案したところ、黒川議員から「①議長が委員として出席し発言すると他の委員へ影響を及ぼす。②議長は本会議で議案の採決を取る際、賛否同数の場合に採決に加わるにより意思表示することが可能である。」ことから、委員会に出席する必要はないと考えるので、現状のままとする。との回答があった。そこで次の疑問が生じてきたので再質問したい。回答をいただきたい。○提案事案で指摘した内閣法制局法解釈を否定するのかどうか。(総務省法務部門等に法解釈を確認してほしい。)○大野副議長は委員として出席し発言しているが黒川議員の前①の主張と矛盾しないか。○財務常任委員会では特に予算や決算等重い議題が多いため、議長としても詳細に聞きたい内容があるはずで、それを理解しないまま議長として採決に臨むのは他の議員の理解を得られないのではないか。○各委員は議員としての独立性を担保(保証)されているため、議長が委員として発言されても、その発言を忖度して発言する必要がないことから議長が指摘する前①の影響はないものと考えられる。○そもそも議長が委員会に出席し発言しないことは、一議員としての職責を放棄していると思われぬか。	議会運営委員会
64	平成31年1月29日	代表・一般質問について	代表・一般質問について	不要	①質問については、時間と労力等を要した貴重な意見だと思えます。従って市の回答に対しては必要に応じてフォローが必要と思えます。	—
65	平成31年1月31日	統計調査について	その他	要	①厚労省の毎月勤労統計調査が誤った手法で行われていた問題で、雇用保険や労災保険などで567.5億円の支払い不足が発生して来年度の予算案を修正するという前代未聞の状態になっています。岩倉市においても市民生活に直結する重要な予算編成に影響を及ぼす基本統計調査が実施されていると思えますが、その他の統計調査の一覧について回答下さい。・基本(幹)統計調査と一般統計調査を別けて一覧表の作成をお願いします。 ②議会図書室の閲覧について 一般市民が市議会全般にわたっての知識向上の為、図書の閲覧を希望した場合、それは可能ですか。	議会運営委員会

番号	受付日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
66	平成31年2月12日	身の丈に合った安定的持続的町づくり実現に向けての予算編成を！	その他	要	<p>岩倉市は、第五次岩倉市総合計画策定方針にみられるように、今後、人口の減少及び超高齢化社会という厳しい時代を迎え、税収の減少及び支出の増加を余儀なくされ、市政のますますの効率的運営が求められています。来る2月からの定例会で始まる来年度予算審議は、この効率的運営（私流に言えば安定的持続的町づくり）を実現するための絶好の機会であると考えます。いうまでもなく、岩倉市は、ほとんどの面で規模が小さいため、他の大規模自治体や財政が裕福な自治体と比較すると、数多くの面で劣っていることは否定できません。かと言って、各自治体が実施している良い施策（特に、多額の金額が必要な施策）をどんどん取り入れる（フルセット主義という）と破産自治体になってしまいます。特に、多額の投資額が必要となる建築物（所詮、箱物）、道路及び上下水道設備（新設及び取替）等にはその必要性を十分議論する必要があります。もちろん、市民も安定的持続的町づくりのため、痛みを分かちあえなければなりません。そこで、各議員は来年度予算編成にあたって、身の丈にあった予算規模とすべく、①多額の支出を必要とする施策については徹底的にその必要性を議論、②他の類似自治体と各種経営指針の比較を通して、長期的に適切な財政規模となるよう、歯止めをかけられるよう努められんことを切に要望します。【注】①については「事業仕分け」すると効率的だと考えます。</p>	議会運営委員会
67	平成31年2月12日	市議会議員立候補時に約束した公約の実施状況の報告について	その他	要	<p>岩倉市市議会議員の今任期の終了を間近に控え、次期立候補に向けて各議員は、「〇〇通信」「〇〇新聞」「〇〇報告」の発行、「〇〇連絡事務所看板の設置」、左義長の場におけるチラシ配布などの活動を活発化してきている。しかし、このような議員活動は大切であることは言うまでもないが、各議員が立候補時に市民に約束した公約（マニフェスト）が任期中にどのように努力してどうなったのか、つまりPDCAをどのように廻してどんな成果があったのかを報告しているものは意外と少ない。各市議会議員立候補予定者は、個人としてでも会派としてでも結構であるが、是非過去の公約の実施状況を市民に分かり易い形で選挙前に報告していただきたい。ただ、選挙当選目当ての公約（マニフェスト）だとすれば、あまりにもお粗末ではないか。市民の目は各議員が思っている以上に厳しいですぞ。</p>	議会運営委員会
68	平成31年2月19日	行政視察事項と市の喫緊課題との関係について	その他	要	<p>先般、私が提出したサポーターの声No.18（受付簿29）に対する議会の回答に不満なので再度質問する。市議会議員は、この4月に任期満了となり、改選されることとなるが、この任期4年間に他の自治体に行政視察に行った視察内容について、岩倉市の喫緊の課題解決にどのように貢献したのか改めて聞きたい。逆に言うと、行政視察は岩倉市の喫緊の課題解決のために行くのであるから、視察内容は当然成果として喫緊の課題解決のための政策提言等として反映されていなければならないことになる。ところが、行政視察の現状をみると、必ずしもそのようになっているとは思われない。そこで、敢て、任期4年間に行ったすべての行政視察事項を列挙し、それがどの岩倉市の喫緊の課題解決に寄与したのかを一目で理解できるよう関係を一表にして説明して頂きたく、改めて質問する。</p> <p>（注）岩倉市の喫緊の課題の対象は、執行機関のみならず議会も含まれます。</p>	議会運営委員会

番号	受付けた日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
69	平成31年3月5日	各議員は常日頃から課題発見の努力を忘れずに！！	代表・一般質問について	要	先日、3月定例会が開催され議員15名の中の13名（議長を除く）が代表質問や一般質問を行った。しかし、1名の議員のみが質問をしなかった。当該議員に何故質問をしないのかを問うたところ、曰く、「質問することが何もないから」とのことであった。この回答を聞いて、一体、この議員はどんな気持で日々の議員活動をしているのかと正直唖然とするとともにがっかりした。定例会における一般質問は、日頃から議員が議員活動のなかで課題を発見して執行機関に確認する千載一遇のチャンスとなるものではないだろうか。そのチャンスを自ら放棄することは、市民からみると、議員としてはあるまじき行為であり、議員としての資質を疑わざるを得ない。「物事は、聞こうとしなければ何も聞こえない。見ようとしなければ何も見えない」とは、昔の上司（のちの社長）から教えられた教訓である。このことを、当該議員のみならず各議員も、常日頃から是非心掛けて頂きたいものである。	議会運営委員会
70	平成31年3月12日	31年度予算におけるファイナンスの質疑の充実について	その他	要	先日、財務常任委員会が開催され、31年度予算についての審議が熱心に行われた。その中の一般会計予算の議案質疑ではファイナンスに関する質問が殆どなかった。数億円に及ぶファイナンス【資金調達】予算は、その妥当性を検証すれば場合によっては、百万円単位の節約となりうる。（無論、少額の施策についての検証等は必要ではあるが。）そのためには、その基礎となる資金計画、資金調達条件【調達規模、調達時期、地方債か借入金等の調達手段】が必須であり、これについての質疑が殆どないのは何故か。資金調達や資金運用の、所謂、ファイナンス業務については、かなりの知識を必要とするが、予算編成上かなりのウエイトを持つ重要な事項であろう。是非、執行機関に対して、月別の資金計画を基礎に、きめ細かな資金調達等を明らかにしてもらい、その妥当性を検証できるような質問をして頂きたいものである。	議会運営委員会
71	平成31年3月13日	代表質問を傍聴して	代表・一般質問について	要	長文のため、別添に記載。	議会運営委員会
72	平成31年3月14日	31年度予算の余裕資金を家計を例に考えてみよう！！	その他	不要	先日、弥富市の31年度予算の大幅修正が新聞報道された。その原因は将来に備えて貯金に相当する財政調整基金の確保を優先し、総合計画に計上した諸施策を未実施としたため公約違反と批判されたことによるものとのこと。しかし、小生は、「将来に備えて財政調整基金の確保を優先する」方針は、決して間違っているとは思わない。そこで、先般の小生の議会サポーターの声でも指摘したように、適正な財政規模の確保のためには、財政調整基金等、所謂、余裕資金の算定(確保)が必須となる。分かり易くするため、家計を例に考えてみよう。夫が65才で退職した夫婦2人が90才まで生きる と仮定し、月々22万円程度の年金生活の生涯収入は約6600万円となり、質素な生活を続けた場合の生涯必要資金は、総務省や週刊誌等によると約8000万円となり、約1400万円の不足となる。さらに病気や小災害等臨時の費用を考えると生涯必要資金は約1億円となり、約3400万円の不足となる。この約1400万円及び約3400万円相当を、市の財政に当てはめると余裕資金となるべき財政調整基金、減債基金及び各種積立金等が該当する。そして、これらの金額を算定するためには、長期計画に基づく収支計画、建設投資計画及び資金計画が必須である。以上を念頭に、各議員においては、岩倉市の31年度の余裕資金(貯金)を算定し、身の丈にあった予算編成を心掛けてほしいものである。	—

番号	受付けた日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
73	平成31年3月15日	市議会サポーターの活動状況の説明(報告)について	その他	要	<p>3月定例会も間もなく閉会を迎え、昨年8月から委嘱された市議会サポーターも残り4月開催の臨時会と6月開催の定例会のみとなった。そこで、4月からの新議員メンバーには、今後の市議会サポーター制度をより充実するために、今年度の市議会サポーターの活動状況を、今年の委嘱期間満了時に開催されるであろう市議会サポーターとの最後の意見交換会にて是非説明(報告)して頂きたい。なお、説明(報告)して頂きたい主な事項は次のことが検証可能なものとするべきと考える。</p> <p>①サポーターの選出方法の妥当性(無作為抽出及び公募方法の妥当性)</p> <p>②サポーターの声の種類(議会への提案、要望及びその他の妥当性)特に、市議会として声を聞いてもどうにもならないものもあるのではないか。</p> <p>③サポーターへの謝礼の妥当性 (一律3000円のクオカードの妥当性)傍聴回数、声の提出枚数等により謝礼に差をつけても良いのではないか。</p> <p>④サポーターの声に対するフィードバック迅速化の仕組みの妥当性</p> <p>特に、執行機関の所掌事項に係るサポーターの声がフィードバックされる仕組みが円滑にされているかどうか。(執行機関任せになってフィードバックが遅くなってはいないか。また、議会に関するサポーターの声も研究及び検討するまま放置されているものはないか。)</p>	議会基本条例推進協議会
74	平成31年3月18日	公共施設再配置計画における学習等共同利用施設の譲渡は実現可能か	その他	要	<p>平成28年度から公共施設再配置検討委員会で検討されてきた公共施設再配置計画の中で、学習等共同利用施設の今後の再配置基本方針が「廃止または民間事業者や地区等への譲渡を原則とする。」と結論づけている。しかし、「地区等への譲渡」については、地区等への譲渡時点では、建物はかなり老朽化しているものと想定され、建替えまたは大規模修繕が必須となるが、地区等には財政的に十分な余裕があるところは殆どないため、この方針は非現実的であるものと思われます。よって、平成30年度で廃止予定の公共施設再配置検討委員会にかわる公共施設再配置計画推進本部(仮称)において、引き続き慎重な対応を強く要望します。</p>	公共施設再配置検討協議会
75	平成31年3月29日	夏祭における山車引廻費用補助の予算化の実現を！！	その他	要	<p>今年も3月29日から桜祭が開催される。山車も中本町、下本町及び上市場町の町内から3台が巡行し、桜祭りに華を添え、市外等から来た観光客の目を楽しませている。</p> <p>しかし、残念ながら、夏祭には上市場町が経費等の都合がつかず、山車の巡行を見合わせる事となった。</p> <p>新柳町の元役員に聞いたところ、山車を1回巡行させるために、町内の年間区費の3分の1を支出し、且つ、役員経験者は長期間3,000円の寄付を義務付けられているという。</p> <p>いうまでもなく、祭における山車は祭を盛り上げるために欠かせないイベントであり、岩倉市のPRや町づくりの活性化に多大な貢献に資するものである。</p> <p>以上から、費用対効果をみても百万円程度だから充分採算が取れると考えられるので、桜祭と同様夏祭にも、是非、山車巡行費用の予算化を執行機関に働きかけて頂きたい。</p>	議会運営委員会

番号	受付けた日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
76	平成31年4月1日	「市議会サポーターの声」への回答内容について	その他	要	平成31年1月26日開催の市議会サポーターとの意見交換会において提出された「市議会サポーターの声」に対する議会側の回答内容については、回答になっていないものが対象件数51件の中には多くあり、「不十分である」と指摘したところであるが、その後、平成31年3月15日に開催された議会基本条例検証特別委員会の議事録を読むと、その後増加したものも含めた65件について、「回答を返した」と記述され、あだかも「サポーターの声の提出者が納得するに足る十分な回答」をしたと推察されるような表現になっている。意見交換会以降の修正した回答を見ていないので、断言はできないが、仮に意見交換会の51件に+14件したままのものであれば、「回答を返した」と記述するのは少し勇み足のように思われる。以上の観点から、「回答を返した」との記述は再検討する必要があるはしないだろうか。	議会基本条例推進協議会
77	平成31年4月2日	市幹部個人の個人情報に関する批判について	代表・一般質問について	要	堀議員が3月定例議会の一般質問で小川副市長の日常生活について発言し、これに関連して3月18日の全員協議会で傍聴者からも発言があった。 これに関しては次の問題があると考え。 1 市幹部の生活状況などへの言及・批判は、議会基本条例（第21条2項）に抵触しないが、今回の一般質問は訴訟に関連したものであると推察でき、ここまで追及することの違和感を感じる。 2 3月18日全員協議会は、副市長の行動等について無用の中傷を意図したものである。 3 以上1・2は、市民を代表する言動とは決して言い難い。全員協議会に出席していた多くの傍聴人も、私と同様の認識をし議会に対する不信感を抱いた人も多いと思う。 その意味から全員協議会における議長の最終処理は適切であったと考える。	議会運営委員会
78	平成31年4月2日	常任委員会における議案修正動議の在り方について	議会運営について	要	1 3月定例議会、総務・産業建設常任委員会において、議案番号6の審議に際して修正動議を提出し、約40分間議論ののち提案者が取り下げた。 2 厚生・文教常任委員会において議案番号23の審議に際して修正動議を提出し、約30分間審議ののち提案者が取り下げた。 以上2案件にお共通するものは、2月22日執行機関の提案説明後、精読・吟味する期間が十分あったにもかかわらず議案についての事前検討が不足のまま思い付きで議提出したと思われることであり、常任委員会における時間の浪費も容認できない。 議案番号6については、過去に成立した条例における表現との整合について考慮されていない。議案番号23についても類似する議案番号24が総務・産業建設常任委員会で採択されていることを考えると、明らかな矛盾は避けられない。 修正動議提出議員はともに真政クラブに所属しているが、本案件を会派内で議論していないことも明白であり、慎重な対応を切望する。	議会運営委員会
79	平成31年4月10日	各種協議会議事録の簡略化及び迅速化について	議会運営について	要	現在、各種協議会の議事録は、本会議及び各種委員会と同様に、議事録の作成を委託会社に委託し、発言内容を録音した後、質疑応答形式で作成しているため、ホームページに掲載されるのは、傍聴者等が議事録を知るのは3カ月程度後になっている。そこで、各種協議会の議事録は、質疑応答の一問一答形式に捉われず要約形式で作成できないだろうか。（要約形式では問題が生じるのだろうか。）そうすれば、傍聴者等が各種協議会の議事録を早く知ることができ、議会の活性化に結びつくと思うが、如何だろうか。是非、各種協議会議事録の簡素化及び迅速化を検討していただきたい。	議会運営委員会

番号	受付けた日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
80	令和元年5月1日	傍聴席の名称の変更について	議会運営について	要	現在、市民が本会議等に出席して会議内容を聴くために座る席を傍聴席と称しているが、これは市民が会議内容を「傍らで聴く」というような意味に受け散られ、少し違和感があると感じられる。そこで、傍聴席の名称を「市民席（仮称）」と名称変更したら如何だろうか。実は、この名称変更の提案は、去る平成31年4月27日（土）にNHKテレビで放映された「地方議会を考える」というテーマの中でコメンテーターの大学教授が提起したものである。一考に値するものと考えてるので是非一度検討してほしい。	議会運営委員会
81	令和元年5月11日	中野会館北側（市所有地）への中野町防災物置の設置について（要望）	その他	要	中野町内の防災器具等を格納している防災倉庫（組立式のイナバ社製品で4坪程度）は、平成17年度に中野神社所有敷地内に借料は無料として、約35万円程度で設置したところであるが、数年後、中野神社側から神社の財源が乏しいことから毎年5万円を敷地使用料として支払ってほしい、との要望があり、平成30年度まで支払ってきた。しかし、毎年度の町内会区費が百万円弱の中の5万円の支出は町内会区費に及ばず影響が大きく、且つ、防災倉庫の設置が続く限り支払い続けることとなると莫大な金額となるため、早急にコストパフォーマンス（費用対効果）を考慮する必要が出てきた。そこで、現在、中野会館の北側の空地（岩倉市所有地で児童遊園扱いとなっている）へ新たに中野町の防災倉庫（現在設置の防災倉庫と同程度の規模のもの）を設置させて頂けるよう岩倉市（当該空地の所管課である子育て支援課）に検討を是非お願いしたい。なお、設置に必要な費用及び敷地使用料は全て中野町が負担しますが、可能ならば敷地使用料はできるだけ安くして頂ければ幸いです。（注）本要望については、中野町の区長からも要望書を市長宛提出する予定です。	議会運営委員会
82	令和元年5月14日	議員の品格について改めて考えてみては如何！！	その他	要	過日、横綱白鵬が大相撲千秋楽後の優勝インタビューの中で、万歳三唱及び三本締めを行ったことに対して横綱審議委員会の指導の下日本相撲協会から横綱としての品格に欠ける、とけん責処分を受けたことは殆どの方はご存知であろう。大相撲の最高位である横綱には、それなりの品格を求められるのは至極自然なことである。それと同様に、市議会における正副議長についても、それなりの品格が求められていると考えるのもまた自然なことではないだろうか。しかるに、今回の臨時市議会において、ほんの少し前に自ら認めた不祥事を起こした某議員が副議長に指名されている。このような事象は、いわゆる「議員の常識は一般市民の非常識」と揶揄されても仕方がないのではないだろうか。今回の全員協議会において、「議会改革をより積極的に推進していく所存」との議長の立候補時の決意表明がなされている。無論、議会改革も重要だが、それ以前に全議員に対して「議員の品格」の意識改革をしっかりとって頂きたいと切に要望する。	議会運営委員会
83	令和元年6月5日	その他	その他	要	1.岩倉市議会の請願について （1）過去5年間における請願件数（年度毎） （2）その内、採択と非採択（継続審議）の件数割合 （3）非採択案件（継続審議）の理由（全案件） 2. 条例案について （1）首長提案条例と議員提案条例の提出件数（過去5年間） 3. 新人議員の教育制度について 議員研修スケジュールと研修費用（一人当たり）	議会運営委員会
84	令和1年6月10日	軽自動車税の見直しについて		不要	軽自動車税の見直しは普通自動車税の流れを受けての事であると思います。 そもそも自動車はぜいたく品であり、税が上がっては新車に切りかえることができないという人の意見を受けて議論にからめていくというのはいかがなものかと思えます。	議会運営委員会

番号	受付けた日	件名	分類	回答要不要	本文	担当委員会
85	令和1年7月10日	ご意見	その他	要	<p>平成30年6月度定例会を傍聴させていただきました。</p> <p>仕事上 有給休暇を取り市議会を傍聴することが難しいので以降は YouTubeとPCで市議会議事録での視聴となりましたが、少しでも関わる事が出来ました事感謝申し上げます。</p> <p>予算案の中で気になる事 岩倉市と言えば五条川の桜有名ですよね。春にはお花見に集う人々が多くなるでしょう。と他の土地に住んでいらっしゃる方に言われます。それ程有名なのかと思ってしまう程ですが、その桜の木に関しての予算の少なさに驚きました。今はこれぞとばかり咲き誇っていますが、以前から思うとかなり老朽化していると思います。未来に繋がる為には桜の木を守る為の予算を取って頂く或いは、記念植樹等 考えて頂きたいと思います。</p> <p>意見交換会に出席させて頂いて</p> <p>今の子供達は政治に無関心である事を述べていらっしゃる方の意見を聞いて、このような機会を与えて頂いたにも関わらず 義母の介護また仕事にと余り市議会傍聴出来なかった事改めて如何に自分も無関心であったかと恥じています。</p> <p>例えば、小・中・高統学校の社会見学の一環として市議会の傍聴して頂く事は可能でしょうか？学びには体験が必要かと</p> <p>既にされているなら知識不足ですみません。</p>	議会運営委員会